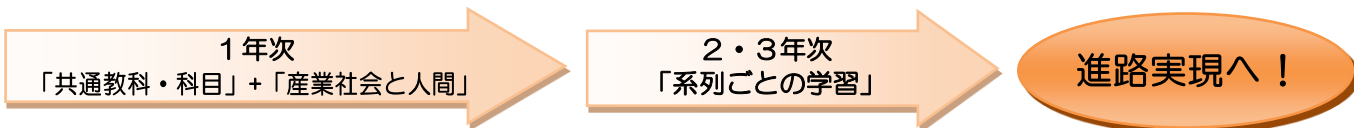


県立高校の分類④

◆ 総合学科高校

将来の進路について考え、共通科目と専門科目にわたる幅広い科目の中から、自分で選択し学習できる学校です。具体的には、1年次の「産業社会と人間」において「将来就きたい職業」「生き方」について深く考えるとともに、「どのような科目を選ばよいか」などを学習します。その上で、2年次以降は、複数の学びの分野(総合学科高校では「系列」と呼びます)のうち、自分が将来志望する進路や資格取得にあった系列を選択します。また、学習したい共通科目や専門科目を自分で選択して時間割をつくり、総合的に学習することができる単位制高校です。



「産業社会と人間」について

この科目は、全員が原則として1年次に履修することとなっており、総合学科高校における特色ある授業です。この科目を学ぶことによって現代の産業社会への理解を深め、将来の自分の目標や進路を明確にし、2年次からの系列の選択に結びつけていきます。例として、次のような授業を行っています。

4～7月

- ・ 職業調べ、系列ガイダンス
- ・ 系列体験学習
- ・ 社会人講師による講演

8～11月

- ・ 企業見学、上級学校の見学
- ・ 進路希望調査
- ・ 科目選択説明会

12～3月

- ・ 課題研究学習会（発表会）
- ・ 卒業生から学ぶ
- ・ ライフプラン作成

「単位制」について

単位制とは、3年間で必要な単位を修得すると卒業することができるという制度です。1単位とは、ある科目を週あたり1時間、1年間学習することを意味します。



「課題研究」について

「課題研究」とは、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、社会を支え産業の発展を担う職業人として必要な資質・能力を育成する科目であり、主に3年次で履修します。

課題研究の主な流れ

- ① 課題の設定： 書物、ネット検索、見学などを通して現状を認識した上で課題を設定し、設定した課題について仮説を立てます。
- ② 計画の立案： 資料等を収集し、調査・実験・実習の計画を立てます。また、課題解決に向けた手順も計画します。
- ③ 計画の実施： 計画に従って実施し、実施記録をつけたり、正確なデータを収集します。
- ④ 反省・評価： 実施記録を整理しながら、分析・考察の結果をまとめ、報告書を作成して発表します。また、反省・評価を行い、次の課題に発展させたりします。

総合学科高校	系列	主な学習内容（科目）	
		共通	選択
			系列選択科目
人文科学 自然科学 生活福祉 情報環境 産業工学 海洋科学 など	共通教科・科目 〔原則履修科目〕 産業社会と人間	人文→日本史探究、音楽Ⅰなど 自然→生物基礎、物理 など 生活→食文化、服飾手芸 など 情報→ビジネス基礎、簿記 など 環境→野菜、草花、森林科学 など 産業工学→機械工作、製図 など 海洋→小型船舶、船舶運用 など	政治・経済、数学B、発展英語、中国語Ⅰ、スポーツⅤ、フードデザイン、子どもの発達と保育、服飾手芸、草花、植物バイオテクノロジー、工業技術基礎、情報処理、音楽理論、ビジュアルデザイン、生活の書、社会福祉基礎 など

■ 卒業後の進路

様々な系列があり、選択できる学習内容も幅広いことから、進路についても多様となっています。学習内容を自分で選択できることから、将来の進路目標に自主性を持って取り組むことができます。

進学約65%

就職約35%

■ 該当校及び地図表示

学校名	設置学科	系列	
		系列	主な学び
①紫波総合	総合	福祉・健康	福祉
		情報・経済	商業
		ライフデザイン	家庭
		エコシー・フード	農業
②北上翔南	総合	人 文	普通
		自 然	普通
		情 報	商業
③岩谷堂	総合	環 境	家庭 農業
		生活・福祉	家庭 福祉
		生物生産	農業
		産業工学	工業
		流通情報	商業
④一関第二	総合	人文科学	普通
		自然科学	普通
⑤久慈翔北 (門前校舎)	総合	福 祉	福祉
		環境・生活	農業 家庭
		ビジネス	商業
		人文科学	普通
		自然科学	普通
		食 物	家庭
		介護福祉	福祉
環境緑化	農業		
⑥北 桜 (総合校舎)	総合	海洋科学	水産
		情報ビジネス	商業
		生活・文化	家庭 農業 芸術
		介護・福祉	福祉

